

公立浜坂病院 整形外科：午後の診療開始

整形外科では、毎週火曜日と木曜日に、午後の診療を開始しました。(予約可)
(午後の受付) 14:00 ~ 16:00 (午後の診療) 14:30 ~ 17:00

		月	火	水	木	金
	午前	久保医師	久保医師	久保医師	久保医師	黒田医師
		午後	—	久保医師	—	久保医師

議会常任委員会合同行政視察研修報告(3)

佐用町(堆肥生産工場)・岡山県和気町(教育、移住施策)・岡山県久米南町(デマンド交通)05.10.19-20

岡山県和気町(人口規模は新温泉町と同等)は、**教育を地方創生の柱**に据え、「**グローバル社会で活躍できる人材の育成と教育に関心の高い子育て世代の移住促進を図ること**」を目的に全年齢・全住民を対象として英語教育の推進に取り組んでこられました。

具体的には、小中学校では英語特区の指定を受けての保育園、小学1・2年生から中学生までの文部科学省課程を超えた英語活動(教育)に取り組んでおられます。特に中学校では、17時間のオールコミュニケーション授業を取り入れ、すべての小中学校にALTが配置されています。更に、小中学校でオーストラリアの学校との遠隔授業にも取り組んでおられました。

学校教育だけでなく、公営塾事業として社会人向け英会話教室や海外の講師と繋がるオンライン英会話、或いは英語でのオンライン交流活動や地元和気閑谷高校英語研究部員が企画・進行を担当する小5~中3を対象としたイングリッシュキャンプも行われています。その**和気閑谷高校(3学級120人定員)**の存続を目指し、町外・県外からの生徒の受け入れのための**寮を和気町が建設**することが決まっているとのことでした。

そんな町のやる気が10年間での移住者実績約700人に繋がっているように思えました。



ほっとばなし

今年3月26日、大庭認定こども園の卒園式でのこと。卒園児と在園児との『お別れのこたば』の時、演台に並んでいた卒園児の一人が静かにうずくまりました。誰も動揺することなく、やり取りは進められ、担任の先生が何気なく誘導して脇で休憩させてあげました。何事もなかったかのような対応に、日常のご指導の様子を目の当たりにさせていただいた思いがしました。

演台でのプログラムが終わるまでに、休憩していた卒園児は元の位置に復帰することができました。最後の卒園児退場の場面で、その園児とお母さんの目が一瞬合い「にこり」と微笑んだように見えました。お二人にとっても良い記憶に残る卒園式になっただろうと思え、私も「ほっと」なひと時を過ごさせていただきました。



どうなる？巨大風力発電プロジェクト

新たな情報はありませんでした。このままの収束を願います。

5月10日臨時議会

5か月間空白となっていた教育長が選任同意されました。最も適任との町の声が届きました。町当局との対等な関係での教育行政執行を望みます。

4月26日高末での座談会

有志議員が地域に出向く、浜坂地域・高末での座談会に参加させていただきました。

主な具体的話題としては、

- ① 浜坂認定こども園(現在地は危険だと思う。早く決着せよ。)
- ② 教育長人事(早く、選任すべきだ。)(5月10日解決済)
- ③ 浜坂東小学校の環境(鹿が校庭に出没し不衛生、スクールバスが旋回できないため改善すべきだ。)
- ④ 下水道料金制度(町内での料金制度統一は必須だ。)
- ⑤ 消滅可能性自治体(人口増、子育て施策を打つべきだ。)
- ⑥ 久斗川の環境保全(魚が少なく、農薬の規制をすべきだ。)
- ⑦ 浜坂病院維持問題(町民の多くが利用する病院にすべきだ。)



いずれの課題も重要であることを再認識し、協調しながら前向きに取り組むたいと思いました。

町政報告 2024 年春第 26 号

析の実 通信

(ただっちゃん つうしん)

新温泉町議会議員

かわ ぐえ

河越ただし

住民の幸せ追求が町政のつとめ

発行：河越 忠志

〒669-6801 新温泉町井土 978-1 TEL0796-92-2428(事) 92-2206(自)

E-mail:take2428co@coffee.ocn.ne.jp https://www.facebook.com/tadashi.kawagoe.1



令和6年3月議会予算審議報告

今回初めて、新年度予算案に反対するという苦渋の判断をさせていただきました。

その理由①海上の町道改良工事において、明確な説明なく、**補償費算定業務委託費が200万円から450万円に増額**され、家屋補償費が1500万円から3500万円へ増額算定されたこと。令和6年度事業の説明も曖昧なところが多く、昨今の物価高騰により生活に苦しむ町民からの理解を得ることが困難だと思われること。

その理由②リフレッシュ館町民プールについて、**客観的診断を行わないままに、建て替えありきの検討委員会が開催**され、その提言を受けての建て替えありきの基本計画策定業務が委託発注されること。

その理由③ふるさと納税の専任担当を設置したにもかかわらず、実績が減少(**香美町の3分の1以下**)するという残念な結果に対し、対応が示されていないこと。

今後、益々少子高齢化が進むことは、わが町の避けがたい現実です。教育・医療・福祉・交通など、町民の暮らしを支える行政事業の持続に対して、将来への不安は増しています。歳入増の工夫が無く、歳出削減の工夫もなされていない予算案に対して修正を求める苦渋の判断をさせていただきました。

人事案件の採決方法について

昨年12月議会に続き、3月議会における教育長人事案についての採決方法と、議員からの質疑が無かったことに対しての厳しいご意見を頂きました。

憲法15条の後段に明記された「公務員の選挙における投票の秘密は、これを侵してはならない。」の規定が原則であり、この内容は、憲法19条の「思想及び良心の自由」を保障するものだと考えています。『無記名投票』は、周囲からの圧力や情実にしぼられることなく投票できるといった利点があると思います。

投票行動の開示は後の関係性維持を困難する場合があるとも考えています。

「議員が候補者を知らないのであれば、事前調査すべきだ」とのご意見もいただきました。適切な範囲での情報収集は必要だと思いますが、議員の調査には限界があります。受益者である町民の最善の利益のためには、提案者である町からの丁寧な説明が不可欠です。提案の丁寧な説明は、提案者の町民に対する義務だとも考えています。

町長部局は(株)温泉町夢公社の方針転換を導かず！

リフレッシュ館の年間パスの廃止理由

【西村町長】(2月29日 河越の一般質問に対する答弁)
「経営赤字が背景にあり、年間パスの廃止につながったと考えている。」

【その他の視点】年間パスの料金が安すぎるとの指摘については、利用者の皆さんも理解を示しておられます。「料金を3倍にしてもらってもかまわないから、年間パスを残して欲しい」との声もたくさん届いています。その後、株主有志の方々が提出された『年間パス復活を主とした経営改善策』に対しても、経営トップから、受け入れ拒否の意向が示されたとお聞きしました。赤字解消だけが理由ではなかったということでしょうか。リフレッシュ館利用を楽しんでおられた常連の皆さんが落胆しておられます。

【役場：商工観光課】(4月25日総務産建常任委員会での答弁)

担当課から**町民利用40%減、町外者利用40%増**の経営改善計画が示され、中村副議長の『年間パス利用者を大切にしたい町民プールのあり方を模索すべきではないのか。』の質疑に対して、『**(夢公社の)スタッフは常連の皆さんへの対応に疲れている**』との答弁をされ、西村町長からの答弁修正・撤回はありませんでした。

【傍聴させていただいていた河越(民生教育常任委員会所属)の視点】

(株)温泉町夢公社は、新温泉町が指定管理を委託している事業者です。さらに、新温泉町が株式の51%を保有する第三セクターであり、リフレッシュ館は町民の財産でもあります。傍聴していて、町側の立ち位置は、町民に寄り添うものではなく、事業者側にあるように感じました。町は、経営バランスに配慮しつつも、まずは町民のための行政施策を進めるべきだと思います。

西村町長は、提唱された『おんせん天国』を最も愛してこられた町民の皆さんの願いを聞き入れられることなく、(株)温泉町夢公社の方針修正をされず、担当課さえも独立機関になってしまっていることを容認されているようで、町長の本意が分かりません。

更に、客観的根拠なく『**屋根が1～2年ではなくても、いつ落下してくるかも分からず危険な状態にある。**』との前提で進められた「リフレッシュ館町民プールあり方検討委員会」の提言に沿って強引に進められる改築計画案など、財政的にも容認困難だと思っています。

リフレッシュパークゆむらの設置目的(概要)

- ① (湯村温泉の) 利用世代を広げ、利用形態を多様化する。
- ② **町民のみならず**、広く一般の健康増進・保養の場とする。
- ③ 不利な立地を克服し、交通・防災等生活環境整備につなげる。
- ④ 長期構想に基づく建設投資により、町経済に活力を与える。
- ⑤ 経済発展と雇用の場の拡大を図り、特に若者定着につなげる。

利用者の皆さんの苦情

リフレッシュ館の常連の皆さんからのお話として、苦情が多かった事実をお聞きました。

その苦情は、掃除の不完全さや湯温・水温に関することが多かったようです。それは、ハラスメントではなく、組織として真摯に対応すべき事柄ではないでしょうか？そうであるならば、本町は、その対応に関する支援策を講ずるべきだと思います。行政として、常連の皆さんを排除する選択は不適切だと思います。

万一、言葉の暴力であれば職員さんを守る別の方策を講ずべきです。

『おんせん天国』はどこに？



浜坂地域の認定こども園整備は何を目指すべきか？

長期に亘り解決できない認定こども園問題は、新教育長(山本 真氏)の手腕にかかる。

大庭認定こども園耐震補強・改修工事の約4億2千万円は適切か？

【R05 耐震補強・改修基本計画業務委託費補正予算】

新耐震補強は、構造的な危険性から人命を守るために迅速に対応すべき行政責任を果たすためのものとして、改修基本計画業務委託料を補正予算として認めたものであり、0歳児を受け入れないとの方針が示されていた大庭認定こども園を10年以上、維持するための整備として、ほぼ**新築相当の予算**を承認することは、大半の議員が想定していないと思います。



町内児童のこども園等利用状況

民生教育常任委員会(こども教育課)での報告 06.04.26

仮設園舎を敷地内に設ける工法①と敷地外に設ける工法②の2案が示されました。(後に、工法②の方針が決定されました。)

その内、工法①の工期は16か月で、工法②は10か月、整備内容は同一で、約70㎡を増築し、職員室等配置するというものです。工法②の工事費用は約4億2千万円で、工法①より約1500万円程度割高ということでした。延べ面積は概ね675㎡、**工事単価：1坪あたり約185万円(税別)**になります。

幼児教育環境(待機児童0人)づくりに関する懸念

新温泉町では、年度当初である4月1日での待機児童0に対応するための最低限の職員配置しかできない職員採用を行っています(**財政的理由との町当局の説明**)。そのため、年度途中での利用申し込みがあっても、受け入れできず待機児童が発生する状況です。昨年は、定員枠に余りがあった「ゆめっこ認定こども園」で、0歳児の受入れを断った事例が2件以上ありました。

将来展望や目標のない幼児教育施設づくりに関する懸念

浜坂認定こども園整備も未定の中、しかも、定員としては大庭認定こども園の園児全員を浜坂認定こども園で受け入れても余りある児童の減少に拍車がかかっている中、ただ目先の整備だけに進もうとする姿勢は、今年度の予算編成に表れており、他の自治体より4割以上多いといわれる公共施設の維持や更新方法により、本来取り組むべき施策の妨げになっていることを危惧します。

令和6年4月1日現在

認定こども園名	定員	在籍者数							定員充足率
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園合計	
公立	ゆめっこ認定こども園	2	5	8	13	11	18	57	33.5%
	(内 広域入所者数)							0	
	浜坂認定こども園		15	23	20	30	20	108	67.5%
	(内 広域入所者数)							0	
	大庭認定こども園		2	10	11	12	14	49	37.7%
	(内 広域入所者数)							0	
公立合計		460	22	41	44	53	52	214	46.5%
(内 広域入所者数)			0	0	0	0	0	0	
私立	明星認定こども園	70	3	12	11	14	10	62	88.6%
	(内 広域入所者数)		0	0	0	0	0	0	
総合計		530						276	
(内 広域入所者数)			0	0	0	0	0	0	

園名		町外施設在籍者数(広域入所)							
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園合計	
私立	みなと保育園(香美町)		1					1	
合計			1					1	